

下関北九州道路の都市計画手続き着手に係る知事コメント

下関北九州道路は、関門橋や関門トンネルと環状道路網を形成することにより、地域間の連携や日常的な交流を促進し、関門地域の自立的発展を支える重要な基盤であり、災害時等にも機能する信頼性の高い道路網を構築する観点から、その整備が必要である。

こうした中、本日、国と関係2県2市から、都市計画決定権者である山口県及び北九州市に、下関北九州道路の都市計画の参考となる図面が送付された。

県としては、今後、地元下関市と連携し、地域の合意形成を図りながら、都市計画の手続きを着実に進めるとともに、引き続き、関係2県2市や経済界等と一体となって、下関北九州道路の早期事業化に向け、国への要望活動に精力的に取り組んでいく。

令和6年5月10日

山口県知事 村岡 嗣政